

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年1カ月間(2007年11月2日～2017年11月20日)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高金利通貨マザーファンドの受益証券
	ダイワ高金利通貨マザーファンド	内外の債券および短期金融資産
マザーファンドの運用方法	<p>①主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 各国の格付け*、通貨の流動性等を勘案して投資対象通貨を選定します。</p> <p>* 自国通貨建て長期債務格付けがB B B格以上(ムーディーズでB a a 3以上またはS & PでB B B-以上)とします。</p> <p>ロ. 主に金利水準等から10通貨を選定し、3通貨は12.5%程度、4通貨は10%程度、3通貨は7.5%程度に配分します。通貨の選定、配分比率は3カ月をめどに見直します。なお、流動性、市場の状況、ファンダメンタルズ等を勘案した結果、配分が異なる場合があります。</p> <p>ハ. 投資対象とする債券および短期金融資産は残存期間が1年以内、取得時においてA格以上(ムーディーズでA 3以上またはS & PでA-以上)に相当するものとします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持します。</p> <p>ホ. 運用の効率化を図るため、外国為替予約取引等を利用します。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます)等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。5月と11月の計算期末については、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮し、基準価額水準に応じて、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないました。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ高金利通貨ファンド (毎月決算型) (愛称：金利のチカラ)

運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2017年11月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ高金利通貨ファンド(毎月決算型)(愛称：金利のチカラ)」は、このたび、満期償還となりました。

ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3095>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公社債組入比率	純資産総額
	(分 配 落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
92期末(2015年6月22日)	5,525	25	△ 0.7	95.4	1,478
93期末(2015年7月21日)	5,407	25	△ 1.7	96.7	1,429
94期末(2015年8月20日)	5,177	25	△ 3.8	96.4	1,345
95期末(2015年9月24日)	4,751	25	△ 7.7	96.3	1,223
96期末(2015年10月20日)	4,921	25	4.1	95.8	1,252
97期末(2015年11月20日)	4,977	15	1.4	96.1	1,249
98期末(2015年12月21日)	4,803	15	△ 3.2	94.3	1,153
99期末(2016年1月20日)	4,468	15	△ 6.7	94.6	1,044
100期末(2016年2月22日)	4,418	15	△ 0.8	95.0	1,021
101期末(2016年3月22日)	4,534	15	3.0	92.5	1,038
102期末(2016年4月20日)	4,540	15	0.5	93.4	1,032
103期末(2016年5月20日)	4,331	15	△ 4.3	93.4	975
104期末(2016年6月20日)	4,200	15	△ 2.7	86.6	937
105期末(2016年7月20日)	4,244	15	1.4	95.4	938
106期末(2016年8月22日)	4,139	15	△ 2.1	95.5	909
107期末(2016年9月20日)	4,102	15	△ 0.5	92.8	892
108期末(2016年10月20日)	4,195	15	2.6	94.6	908
109期末(2016年11月21日)	4,249	15	1.6	96.2	903
110期末(2016年12月20日)	4,471	15	5.6	96.5	933
111期末(2017年1月20日)	4,441	15	△ 0.3	98.2	902
112期末(2017年2月20日)	4,432	15	0.1	96.7	891
113期末(2017年3月21日)	4,489	15	1.6	95.8	882
114期末(2017年4月20日)	4,300	15	△ 3.9	96.5	818
115期末(2017年5月22日)	4,451	5	3.6	96.7	844
116期末(2017年6月20日)	4,508	5	1.4	96.3	836
117期末(2017年7月20日)	4,607	5	2.3	95.8	822
118期末(2017年8月21日)	4,487	5	△ 2.5	84.8	781
119期末(2017年9月20日)	4,613	5	2.9	71.7	784
120期末(2017年10月20日)	4,585	5	△ 0.5	55.2	749
償 還(2017年11月20日)	4,573.63	—	△ 0.2	—	720

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

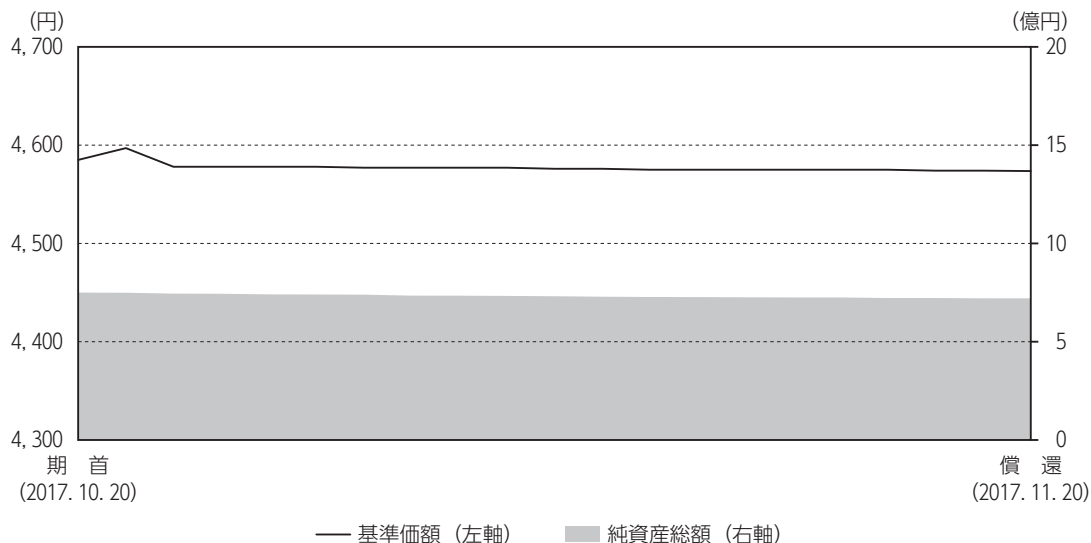
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、投資対象通貨およびその配分比率を3カ月をめぐりに見直します。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：4,573円63銭（既払分配金3,305円）

騰落率：△19.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

債券価格については、当ファンドが投資している債券の残存期間が短いことから値動きは限定的でしたが、利息収入については、安定的に基準価額の上昇に寄与しました。一方で、投資した通貨の為替相場がおおむね対円で下落したことが基準価額の下落要因となり、基準価額は下落しました。

ダイワ高金利通貨ファンド（毎月決算型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期首) 2017年10月20日	4,585 円	— %	55.2 %
10月末	4,577	△ 0.2	—
(償還) 2017年11月20日	4,573.63	△ 0.2	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2007. 11. 2～2017. 11. 20）

■海外短期債券市況

米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅ローン）問題や米国大手金融機関の経営破綻などを受けて世界的に金融収縮や景気後退が発生したことで、各国で危機対応による金融緩和が実行されたことから、多くの国の短期金利は低下しました。市場の混乱が一服した後も、低インフレ環境下で景気支援のための低金利政策が実施されたことから、多くの国の短期金利は低位で推移しました。

■為替相場

設定日（2007年11月）から2009年初めにかけては、米国のサブプライムローン問題や米国大手金融機関の経営破綻などを受けて世界的に信用不安が拡大し、市場のリスク回避の動きから、高金利通貨は対円で大幅に下落しました。2009年初めから2014年の後半までは、市場が落ち着きを取り戻す中で、経済指標の底入れや株式市況の回復とともに、投資家心理が改善したことによって高金利通貨は対円で緩やかな上昇局面となりました。欧州債務問題の深刻化を受けて高金利通貨が売られる局面もありましたが、日本での安倍政権発足や日銀の黒田総裁就任に伴って円売り圧力が強まったこともあり、おおむね対円での上昇傾向が続きました。2014年後半からは、中国をはじめとして世界的な景気先行き不透明感が強まったことから、高金利通貨は対円で下落基調となりました。しかし2016年11月に米国の大統領選挙でトランプ氏が当選すると、経済・財政政策への期待感から市場のリスク選好姿勢が強まり、下落幅を縮小させました。2017年以降は、トランプ氏の政策運営能力に懐疑的な見方が広がったものの世界経済が安定した推移となり、先進国における金融政策の正常化の流れの中で金利差に着目した動きが広まり、円安基調となりました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高金利通貨マザーファンド」の受益証券に投資することを通して短期の公社債を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

■ダイワ高金利通貨マザーファンド

主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

信託期間中のポートフォリオについて

(2007. 11. 2 ~ 2017. 11. 20)

■当ファンド

「ダイワ高金利通貨マザーファンド」の受益証券に投資することを通して短期の公社債を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

■ダイワ高金利通貨マザーファンド

投資対象通貨の中から相対的に金利水準の高い10通貨を選定し、残存期間1年以内の短期債券に投資しました。また、ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持しました。組入債券の格付けについては、取得時A格以上としました。

2017年10月後半以降は、2017年11月17日の繰上償還に備え、わが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に切替えました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当たり、第3期から第13期は各50円、第14期から第51期は各35円、第52期から第96期は各25円、第97期から第114期は各15円、第115期から第120期は各5円の収益分配を行ないました。なお、第1期および第2期は分配方針通り収益分配を行ないませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 10. 21~2017. 11. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	4円	0.084%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,577円です。
(投 信 会 社)	(2)	(0.039)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.041)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.003)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	4	0.084	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年10月21日から2017年11月20日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高金利通貨マザーファンド	—	—	837,575	745,835

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首	
	□ 数	金 額
	千口	千円
ダイワ高金利通貨マザーファンド	—	837,575

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年11月20日現在

項 目	價 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	722,611	100.0
投資信託財産総額	722,611	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月20日現在

項 目	價 還 時
(A) 資産	722,611,745円
コール・ローン等	722,611,745
(B) 負債	2,079,465
未払解約金	1,439,858
未払信託報酬	638,482
未払利息	1,125
(C) 純資産総額 (A - B)	720,532,280
元本	1,575,406,844
償還差損益金	△ 854,874,564
(D) 受益権総口数	1,575,406,844口
1万口当り償還価額 (C / D)	4,573円63銭

* 期首における元本額は1,635,138,627円、当期中における追加設定元本額は348,155円、同解約元本額は60,079,938円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は4,573円63銭です。

* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は854,874,564円です。

■損益の状況

当期 自 2017年10月21日 至 2017年11月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,288円
支払利息	△ 1,288
(B) 有価証券売買損益	△ 1,077,581
売買益	35,503
売買損	△ 1,113,084
(C) 信託報酬等	△ 638,482
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,717,351
(E) 前期繰越損益金	△ 693,250,471
(F) 追加信託差損益金	△ 159,906,742
(配当等相当額)	(3,494,810)
(売買損益相当額)	(△ 163,401,552)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 854,874,564
償還差損益金 (G)	△ 854,874,564

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2007年11月2日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年11月20日		資産総額	722,611,745円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	2,079,465円
				純資産総額	720,532,280円
受益権口数	4,381,523,820口	1,575,406,844口	△2,806,116,976口	受益権口数	1,575,406,844口
元本額	4,381,523,820円	1,575,406,844円	△2,806,116,976円	1単位当り償還金	4,573円63銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	7,760,151,746	7,332,132,572	9,448	0	0.00
第2期	11,001,381,768	10,604,799,966	9,640	0	0.00
第3期	12,530,627,925	11,365,508,244	9,070	50	0.50
第4期	13,661,321,889	12,542,881,263	9,181	50	0.50
第5期	15,548,163,066	12,999,141,008	8,361	50	0.50
第6期	16,434,633,823	14,874,579,304	9,051	50	0.50
第7期	16,730,726,554	15,209,463,758	9,091	50	0.50
第8期	17,186,060,862	15,869,149,634	9,234	50	0.50
第9期	17,420,406,142	16,507,852,490	9,476	50	0.50
第10期	17,780,885,167	16,294,236,379	9,164	50	0.50
第11期	18,265,005,418	15,577,231,773	8,528	50	0.50
第12期	18,432,456,825	12,142,024,032	6,587	50	0.50
第13期	18,188,755,891	10,282,142,585	5,653	50	0.50
第14期	17,393,347,330	9,736,824,165	5,598	35	0.35
第15期	17,005,151,553	8,966,962,184	5,273	35	0.35
第16期	16,608,203,324	8,815,376,881	5,308	35	0.35
第17期	16,237,600,316	9,406,054,601	5,793	35	0.35
第18期	16,018,877,779	9,627,690,151	6,010	35	0.35
第19期	15,847,255,701	9,663,961,209	6,098	35	0.35
第20期	15,569,338,606	9,738,451,398	6,255	35	0.35
第21期	15,355,894,789	9,608,925,896	6,257	35	0.35
第22期	15,086,737,801	9,546,687,158	6,328	35	0.35
第23期	14,663,301,421	9,336,720,893	6,367	35	0.35
第24期	14,427,827,252	9,368,239,721	6,493	35	0.35
第25期	13,924,642,253	8,766,194,416	6,295	35	0.35
第26期	13,555,542,535	8,400,680,826	6,197	35	0.35
第27期	13,225,743,057	8,488,985,049	6,419	35	0.35
第28期	12,909,888,967	8,044,307,955	6,231	35	0.35
第29期	12,600,452,365	7,853,972,110	6,233	35	0.35

ダイワ高金利通貨ファンド (毎月決算型)

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 単 位 当 り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第30期	12,288,724,850	7,893,090,885	6,423	35	0.35
第31期	12,089,572,557	7,107,755,485	5,879	35	0.35
第32期	11,804,954,921	6,973,051,152	5,907	35	0.35
第33期	11,579,438,191	6,532,129,661	5,641	35	0.35
第34期	11,257,080,570	6,365,291,696	5,654	35	0.35
第35期	10,908,398,673	6,311,848,721	5,786	35	0.35
第36期	10,642,696,758	5,990,034,298	5,628	35	0.35
第37期	10,251,139,560	5,980,032,322	5,834	35	0.35
第38期	9,819,329,786	5,622,140,675	5,726	35	0.35
第39期	9,490,045,286	5,432,070,313	5,724	35	0.35
第40期	9,081,704,523	5,279,608,729	5,813	35	0.35
第41期	8,671,017,395	4,911,287,925	5,664	35	0.35
第42期	8,489,712,020	5,053,944,484	5,953	35	0.35
第43期	8,267,699,362	4,821,526,209	5,832	35	0.35
第44期	7,978,872,478	4,527,461,322	5,674	35	0.35
第45期	7,717,596,316	4,348,992,908	5,635	35	0.35
第46期	7,494,377,991	3,987,717,912	5,321	35	0.35
第47期	7,316,399,026	3,677,262,813	5,026	35	0.35
第48期	7,123,421,661	3,560,373,993	4,998	35	0.35
第49期	6,895,881,536	3,348,098,513	4,855	35	0.35
第50期	6,683,585,628	3,208,365,761	4,800	35	0.35
第51期	6,539,195,861	3,197,266,749	4,889	35	0.35
第52期	6,216,739,039	3,236,503,454	5,206	25	0.25
第53期	5,963,031,959	3,210,499,691	5,384	25	0.25
第54期	5,773,827,675	2,976,495,286	5,155	25	0.25
第55期	5,680,210,269	2,693,725,604	4,742	25	0.25
第56期	5,505,679,729	2,622,049,996	4,762	25	0.25
第57期	5,388,214,630	2,571,994,307	4,773	25	0.25
第58期	5,217,251,372	2,530,198,345	4,850	25	0.25
第59期	5,056,483,531	2,456,444,507	4,858	25	0.25
第60期	4,901,125,101	2,386,132,638	4,869	25	0.25
第61期	4,762,643,066	2,341,720,074	4,917	25	0.25
第62期	4,606,550,411	2,391,428,602	5,191	25	0.25
第63期	4,537,172,145	2,501,631,803	5,514	25	0.25
第64期	4,421,012,908	2,552,739,254	5,774	25	0.25
第65期	4,260,224,185	2,461,264,992	5,777	25	0.25
第66期	4,146,776,578	2,502,283,409	6,034	25	0.25
第67期	4,070,792,120	2,481,756,797	6,096	25	0.25
第68期	3,958,333,038	2,165,079,823	5,470	25	0.25
第69期	3,844,881,771	2,193,969,363	5,706	25	0.25

ダイワ高金利通貨ファンド（毎月決算型）

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 単 位 当 り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第70期	3,796,009,212	2,068,933,302	5,450	25	0.25
第71期	3,741,303,767	2,153,638,957	5,756	25	0.25
第72期	3,677,073,523	2,090,172,043	5,684	25	0.25
第73期	3,615,443,035	2,050,684,680	5,672	25	0.25
第74期	3,492,920,215	2,014,233,734	5,767	25	0.25
第75期	3,441,877,450	1,937,904,293	5,630	25	0.25
第76期	3,369,762,062	1,863,533,506	5,530	25	0.25
第77期	3,329,283,844	1,850,968,021	5,560	25	0.25
第78期	3,274,920,920	1,875,929,279	5,728	25	0.25
第79期	3,217,703,350	1,836,355,832	5,707	25	0.25
第80期	3,181,144,628	1,804,788,950	5,673	25	0.25
第81期	3,136,981,820	1,774,526,432	5,657	25	0.25
第82期	3,108,534,936	1,765,354,244	5,679	25	0.25
第83期	3,049,149,859	1,771,796,984	5,811	25	0.25
第84期	3,035,286,298	1,701,033,224	5,604	25	0.25
第85期	2,974,477,239	1,800,632,079	6,054	25	0.25
第86期	2,893,699,527	1,700,490,348	5,877	25	0.25
第87期	2,851,786,872	1,635,862,393	5,736	25	0.25
第88期	2,827,962,987	1,590,646,999	5,625	25	0.25
第89期	2,774,955,844	1,507,617,404	5,433	25	0.25
第90期	2,733,455,592	1,495,799,792	5,472	25	0.25
第91期	2,707,289,464	1,513,460,951	5,590	25	0.25
第92期	2,675,152,195	1,478,092,590	5,525	25	0.25
第93期	2,643,900,097	1,429,534,528	5,407	25	0.25
第94期	2,599,162,457	1,345,715,179	5,177	25	0.25
第95期	2,575,145,142	1,223,507,221	4,751	25	0.25
第96期	2,545,191,810	1,252,365,180	4,921	25	0.25
第97期	2,509,527,807	1,249,017,772	4,977	15	0.15
第98期	2,402,381,519	1,153,872,843	4,803	15	0.15
第99期	2,337,564,159	1,044,314,160	4,468	15	0.15
第100期	2,311,349,869	1,021,103,752	4,418	15	0.15
第101期	2,290,431,890	1,038,551,950	4,534	15	0.15
第102期	2,273,423,705	1,032,225,025	4,540	15	0.15
第103期	2,252,009,558	975,253,634	4,331	15	0.15
第104期	2,232,119,238	937,448,078	4,200	15	0.15
第105期	2,210,713,456	938,227,469	4,244	15	0.15
第106期	2,196,953,502	909,396,515	4,139	15	0.15
第107期	2,175,670,570	892,431,298	4,102	15	0.15
第108期	2,166,932,394	908,981,349	4,195	15	0.15
第109期	2,126,503,648	903,504,612	4,249	15	0.15

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 単 位 当 り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第110期	2,088,235,864	933,636,769	4,471	15	0.15
第111期	2,031,879,289	902,438,594	4,441	15	0.15
第112期	2,010,745,045	891,218,244	4,432	15	0.15
第113期	1,966,841,781	882,885,082	4,489	15	0.15
第114期	1,904,011,214	818,766,160	4,300	15	0.15
第115期	1,896,781,955	844,210,886	4,451	5	0.05
第116期	1,856,072,731	836,758,365	4,508	5	0.05
第117期	1,784,914,458	822,342,926	4,607	5	0.05
第118期	1,741,212,168	781,211,520	4,487	5	0.05
第119期	1,699,784,378	784,079,292	4,613	5	0.05
第120期	1,635,138,627	749,633,081	4,585	5	0.05

(注) 1 単位は受益権 1 万口。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	4,573円63銭

償還金の課税上の取扱いについて

- ・ 償還時の差益（償還価額から取得費用（申込手数料（税込み）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。
- ・ 法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・ 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ高金利通貨マザーファンド

運用報告書 繰上償還 (償還日 2017年11月17日)

(計算期間 2017年10月21日～2017年11月17日)

ダイワ高金利通貨マザーファンドの償還期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の債券および短期金融資産
運用方法	<p>①主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 各国の格付け*、通貨の流動性等を勘案して投資対象通貨を選定します。 * 自国通貨建て長期債務格付けがB B B格以上（ムーディーズでB a a 3以上またはS & PでB B B-以上）とします。</p> <p>ロ. 主に金利水準等から10通貨を選定し、3通貨は12.5%程度、4通貨は10%程度、3通貨は7.5%程度に配分します。通貨の選定、配分比率は3カ月をめどに見直します。なお、流動性、市場の状況、ファンダメンタルズ等を勘案した結果、配分が異なる場合があります。</p> <p>ハ. 投資対象とする債券および短期金融資産は残存期間が1年以内、取得時においてA格以上（ムーディーズでA 3以上またはS & PでA-以上）に相当するものとします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持します。</p> <p>ホ. 運用の効率化を図るため、外国為替予約取引等を利用します。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

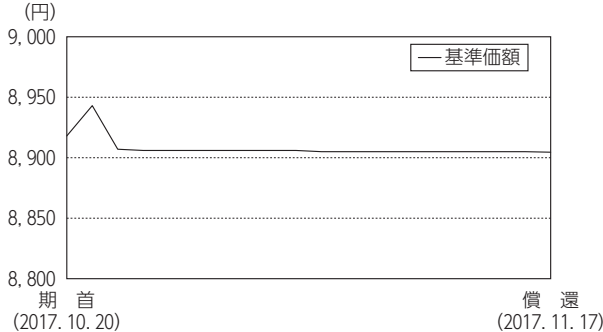
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首) 2017年10月20日	8,918	—	55.4
10月末	8,906	△ 0.1	—
(償還) 2017年11月17日	8,904.54	△ 0.2	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、投資対象通貨およびその配分比率を3カ月をめぐりに見直します。当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 償還時：8,904円54銭 騰落率：△11.0%

【基準価額の主な変動要因】

債券価格については、当ファンドが投資している債券の残存期間が短いことから値動きは限定的でしたが、利息収入については、安定的に基準価額の上昇に寄与しました。一方で、投資した通貨の為替相場がおおむね対円で下落したことが基準価額の下落要因となり、基準価額は下落しました。

◆設定以来の投資環境について

○海外短期債券市況

米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅ローン）問題や米国大手金融機関の経営破綻などを受けて世界的に金融収縮や景気後退が発生したことで、各国で危機対応による金融緩和が実行されたことから、多くの国の短期金利は低下しました。市場の混乱が一服した後、低インフレ環境下で景気支援のための低金利政策が実施されたことから、多くの国の短期金利は低位で推移しました。

○為替相場

設定日（2007年11月）から2009年初めにかけては、米国のサブプライムローン問題や米国大手金融機関の経営破綻などを受けて世界的に信用不安が拡大し、市場のリスク回避の動きから、高金利通貨は対円で大幅に下落しました。2009年初めから2014年の後半までは、市場が落ち着きを取り戻す中で、経済指標の底入れや株式市況の回復とともに、投資家心理が改善したことによって高金利通貨は対円で緩やかな上昇局面となりました。欧州債務問題の深刻化を受けて高金利通貨が売られる局面もありましたが、日本での安倍政権発足や日銀の黒田総裁就任に伴って円売り圧力が強まったこともあり、おおむね対円の上昇傾向が続きました。2014年後半からは、中国をはじめとして世界的な景気先行き不透明感が強まったことから、高金利通貨は対円で下落基調となりました。しかし2016年11月に米国の大統領選挙でトランプ氏が当選すると、経済・財政政策への期待感から市場のリスク選好姿勢が強まり、下落幅を縮小させました。2017年以降は、トランプ氏の政策運営能力に懐疑的な見方が広がったものの世界経済が安定した推移となり、先進国における金融政策の正常化の流れの中で金利差に着目した動きが広まり、円安基調となりました。

◆信託期間中の運用方針について

主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

◆信託期間中のポートフォリオについて

投資対象通貨の中から相対的に金利水準の高い10通貨を選定し、残存期間1年以内の短期債券に投資しました。また、ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持しました。組入債券の格付けについては、取得時A格以上としました。

2017年10月後半以降は、2017年11月17日の繰上償還に備え、わが国の短期金融資産等を中心とした安定運用に切替えました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
合 計	2

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ダイワ高金利通貨マザーファンド

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年10月21日から2017年11月17日まで)

		買付額	売付額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 1,000 (—)
		社債券 —	(— 300)
	カナダ	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル — (500)
国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 1,451 (—)
	マレーシア	千マレーシア・リンギット —	千マレーシア・リンギット 3,500 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年10月21日から2017年11月17日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
		TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 3.5% 2017/11/17	126,223
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.875% 2017/10/31	113,168
		MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.314% 2017/10/31	93,523

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年11月17日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	717,070	100.0
投資信託財産総額	717,070	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年11月17日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	717,070,167円
コール・ローン等	717,070,167
(B) 負債	3,066
未払利息	3,066
(C) 純資産総額 (A - B)	717,067,101
元本	805,282,594
償還差損益金	△ 88,215,493
(D) 受益権総口数	805,282,594口
1万口当り償還価額 (C / D)	8,904円54銭

- * 期首における元本額は837,575,176円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は32,292,582円です。
- * 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ高金利通貨ファンド（毎月決算型）805,282,594円です。
- * 償還時の計算口数当りの純資産額は8,904円54銭です。
- * 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は88,215,493円です。

■損益の状況

当期 自 2017年10月21日 至 2017年11月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	131,667円
受取利息	159,940
支払利息	△ 28,273
(B) 有価証券売買損益	△ 1,133,674
売買益	9,041,021
売買損	△ 10,174,695
(C) その他費用	△ 126,441
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,128,448
(E) 前期繰越損益金	△ 90,611,177
(F) 解約差損益金	3,524,132
(G) 合計 (D + E + F)	△ 88,215,493
償還差損益金 (G)	△ 88,215,493

- (注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。